



大和中ロータリークラブ会員

よいことの
ために
手を取りあおう

YAMATO-NAKA ROTARY CLUB

KANAGAWA RI D2780

2025~2026

2181

会長 入江公敏 会長エレクト 小柳智裕 事務所 大和市大和南2丁目1番1号
 副会長 小柳智裕 幹事 黒坂毅 大和中央ビル301
 プログラム・ 辻彰彦 阿萬正巳 TEL 046-262-1717 FAX 046-262-1818
 クラブ会報担当 桥本日吉 後藤定毅 E-mail : naka-office@ynrc.jp
 例会場 きらぼし銀行 大和支店4F(毎週木曜日) URL : http://www.ynrc.jp

国際ロータリーテーマ

UNITE FOR GOOD

「よいことのために 手を取りあおう」
 RI会長 フランチェスコ・アレッヴィオ

大和中ロータリークラブ会長ターゲット

「あるべき姿、明るい未来を目指そう」

【本日のプログラム】 10月23日 卓話「交通安全事故防止について」宮田 晃 様

【次回予告】 10月30日 卓話「世界が誇る米山奨学制度」白雲森 様、辻 彰彦 様

【第2175回例会】令和7年10月9日(木) 【SL】藤岡 博君 【司会SAA】野口 宏君

【齊唱】 「四つのテスト」 【ゲスト】相澤光春 様(伊勢原RC)

【ビジター】石井伸二 様(横須賀北RC)、今井澄枝 様(鎌倉中央RC)、根岸君代 様(平塚北RC)、
中村辰雄 様(相模原南RC)、生駒秀之 様(綾瀬RC)、福山茂 様(相模原グリーンRC)

会長の時間 入江 公敏 会長

さて、本日の卓話は、相澤光春PGにお願いしまして「世界ポリオデーについて」の話です。卓話を大変楽しみにしておりました。相澤光春PG宜しくお願ひいたします。私もよく理解し、ロータリー財団のひとつであるポリオプラスワンに協力したいと思います。



さて、ユニバーサルデザインと共用品については、よくご存じな方が多いと思います。一応、整理してみますと両方とも「身体的な特性や障害にかかわりなく、より多くの人々がともに利用しやすい製品・施設・サービスのことです。

例えば、シャンプーの側面についているギザギザでシャンプーとコンディショナーを確認するというように視覚以外の感覚で判別・認識できる商品です。トイレのウォシュレットは、最初は、手術後のケアとして活用された機能が一般的に普及したものです。

古くは、クリミア戦争の時あたりから、始まったようで

す。例えば耳にかける眼鏡がそうです。耳にかけて落ちない眼鏡の開発が行われ実用化されました。

次に当時傷痍軍人もタバコが好きで、タバコに火をつけるのは、マッチをつかっていましたが、片手でタバコに火をつけられるライターも傷痍軍人のために作られ、一般的に普及していました。

自動車についてもオートマ車は、ユニバーサルデザインであります。実は、私が普通自動車1種免許を取得したとき、中学・高校が一緒だった友人が小児麻痺で、勉強は優秀でしたが、足にかなりの障害がありました。今から思えば、これがポリオであります。自動車教習所も一緒でした。

今から50年前ですから、オートマチック車限定免許が登場したのが1991年、今から34年前です。50年前にはオートマチック限定免許は無く、マニュアル車で免許を取らなければなりませんでした。その当時は、小児麻痺の方は、マニュアル車に運転補助装置を付けて、大変苦労して免許を取っていました。足を引きずりながら車に向かっていく姿を今でも思い出します。日本では、今でこそポリオの発症はありませんが、当時は、まだ残念ですが、ポリオが発症し、小児

会員数	出席者	出席率	前々回修正	出席免除	欠席者 10名(敬称略)
27名	16名	61.54%	60.00%	1名	渥美、原島、池澤、板垣、伊澤、新村、小野、大根田、鈴木

麻痺の後遺症がある人は、いろいろな面で苦労されていました。その後私の友人は、高校の教師になりました。みんな頑張って生きてきましたが、同じ一生であるのに友人にとってのハンデは、私のそれとは、計り知れないものがあると思います。

ロータリーは、過去35年以上にわたりポリオ根絶活動を行ってきました。ポリオを世界からなくすという私たちの目標は今、達成まで本当にあと少しのところにきています。しかし、今、ポリオの根絶活動を止めてしまうと、10年の間に毎年、身体麻痺の子供が20万人になると予測されています。

私も本日の卓話をよく理解し、私の友人のように、身体麻痺が子供に発症しない世界に微力ながら協力したいと思います。

幹事報告 黒坂 毅 幹事

- ①10月23日例会の卓話が変更となっております。
- ②10月のロータリーレートは1ドル149円です。

委員会報告

親睦活動委員会 土屋 大輔 委員長

会員誕生日 北砂 明彦 君 10月18日
結婚記念日 土屋 大輔 君 10月10日
入会記念日 入江 公敏 君 10月13日



卓 話

「世界ポリオデー」
2013～2014年度ガバナー

相澤 光春 様(ふじさわ湘南RC)

世界ポリオデー

世界ポリオデーの10月24日は、ポリオワクチンの開発者である米国医学者ジョン・ソーグ博士の誕生日を記念するもので、ポリオ根絶を目指す国際ロータリーが設立いたしました。
ソーグ博士がポリオワクチンを開発したのは1952年、
ソーグ博士は1964年10月24日に生を受けました。



ポリオ（急性灰白髄炎・きゅうえいかいかくずいさん）

急性灰白髄炎はポリオ (polio) とも呼ばれ、ピコルナウイルス科、エンテロウイルス属のポリオウイルスによって発症するウイルス感染症のこと。

ポリオはPoliovirusitis (ポリオマイアライティス) の略。

ポリオウイルスが原因で、脊髄の灰白質が炎症を起こす。

はじめは数日間は脊髄炎のような症状があらわれるが、その後1%以下の確率でウイルスに左脳非特異性の弛緩性麻痺（下肢に多い）を呈する病気。



世界保健機関の電子顕微鏡写真 (撮影: WHO)

ポリオ根絶活動は

1985年、ロータリーは「ポリオプラス」プログラムを立ち上げてから国連児童基金 (UNICEF)、世界保健機関 (WHO)、米国疾病対策センター (CDC)、ビル&メリンド・ゲイツ財團、GAVIとのパートナーならびに各国政府がサポートする世界ポリオ根絶推進活動 (GPEI)へと発展しました。
パートナー団体、各政府、世界中のコミュニティと協力して5億人以上の子どもたちに予防接種をしてきております。

ポリオ根絶へ

世界保健機関は1988年にポリオを世界から根絶する決議を採択。
WHO・ユニセフ・CDC・RIの4機関。その後、ビル&メリンド・ゲイツ財團、2019年にGAVI THE VACCINE ALLIANCE がパートナーとなりました。各政府がサポートする「世界ポリオ根絶推進活動 (GPEI)」でRIは中心的な役割を担ってきています。

ポリオ根絶という歴史的な取り組みも、国境と世代を超えて、ロータリアン同士の連携、他団体との連携、全世界の予防接種との約束を果たすべく活動を進めています。



GPEIのそれぞれの役割

WHO	• 総務担当 • 各国保健省に技術面、運営面サポート
CDC	• ウィルス対策担当
ユニセフ	• 予防接種担当
ロータリー	• アドボカシー担当 • ネットワーキングを介し、認識向上、募金、政府民間への支援働きかけ
ビル&メリンド・ゲイツ財團	• リソース担当、多額の寄付
GAVI	• 予防接種率の向上

ポリオフリーへの闘い

ループ1

1978年東京で開催された国際大会でケレム・レヌーフR.I会長エレクトは、保健・財政造説・人道性尊重の3-Hプログラムを提示。
理事会は1980年制定審議会に決議案を提出根拠。

また、3-Hプログラムはロータリーの歴史の中で最大のプロジェクトであるとされていました。痢疾・破傷風ワクチンの開発から始まり、ロータリーのポリオ根絶活動のはじまりへとつながり現在に至っています。



1978-79年度RI会長 クレム・レヌーフ

1979年前半、フィリピンから帰国する飛行機の中で、レヌーフ氏は天然痘の根絶に関する雑誌記事を目にし、ロータリーの新しい「保健、乳癌治療、人間性尊重（RI）補助金」を使って他の疾病を根絶できないだろうかと考えました。

RI補助金は、複数のクラブや地区が共同するロータリープロジェクトを初めて可能とするものでした。

世界的ボリオ根絶運動をロータリーの最優先目標へと押し上げることに貢献しました。

ループ②

1979年9月29日フィリピンのマカティのグアダルーペ・ヒエボ地区にある接種センターで、ボランティアによる児童への巡回ボリオワクチン接種がされたマニラ都市部でのこの活動は、ロータリアンとフィリピン保健者の代表者が手配。当時のジエムズ・J・ボマー会長が最初のワクチンを子どもに投与し、フィリピンのボリオ予防接種運動が開始。これがロータリーの「保健、乳癌治療および人間性尊重（RI）補助金」プロジェクトの第1号となりました。

ループ③

（山田春（つね）氏）

ボリオ根絶のきっかけの発端を頂いた、日本人ロータリアンの日本人ロータリアンである山田春（つね）氏、事務二氏のお二人でござります。

このお二人は命をかけてボリオ根絶という壮大な計画を実現させるきっかけを作り、その偉大な先駆者たる日本人であったことを誇りに思ひ、皆に山田春（つね）さんのお話を聞きさせていただきます。

ロータリーとボリオ

ロータリーが1979年から取り組んでいる「ボリオのない世界の実現」つまり「ボリオの根絶」であり、その実現はまさしくその実績を世界に知らしめらうことになります。

ボールハリスが語っていた「世界はその実績によってロータリーを知るのであります」の実現でもあります。



インドボリオ根絶実践へ

インドのニューデリーにボリオ根絶活動（RI）に参加しようと思いましたのは、私がガバナー年度（2013-14年）にロータリーの根絶計画、三つの柱の一つの公共イメージと認知度の向上への取組みを取り上げ、ボリオ根絶のキャンペーン活動を各グループで実施いたしました。不可能とまで言われておりましたインドで、ボリオ根絶が実現され、ボリオ発症がゼロになるまで、どのように活動し、尽力されたのか、その模様、実情を知るためにインド視察いたしました。



背景

インドではボリオ患者が1985年に15万人を超えて、ボリオ根絶運動が軌道に乗った2009年でも世界の患者数の半分をインドが占めていました。

「インドでのボリオ根絶は不可能」とまで言われていました。しかし2011年1月13日を最後にインドでのボリオ発症ではなく、ついにインドはボリオフリーとなりました。

St. Stephens Hospital

ここは130年の歴史があるデリーで最も古い病院です。この病院にはボリオ病棟が2室（男・女）あり、各9つのベッドがボリオ患者に充てられています。

国際ロータリーは、医者の派遣、病院の運営に支援をしてきました。



こちらの病院の女性は24歳ですが、4歳の時にボリオに感染し、過去4回手術を受けています。

平均月収が2万5千円のインドの人々にとつて簡単に対応できるものではありません。

ロータリーではその手術費用の半分を援助しています。

彼女を構成する麻痺は、治療困難とい

されていましたものの、現在は回復に向かっており、最近退院されましたことでした。

（笑顔が印象的でした）

夢は、ボラオを完治させ幸せな結婚をすることだと話してくれました。

ボリオプログラム4つの柱



Polio Vaccination At Dakshin Puri Center

翌日、ボリオワクチンの接種場所を視察しました。

6歳以下の子どもにも6種類のワクチンが必要であり、そのうちの一つがボリオです。ワクチンや予防接種の費用もロータリーが支援しています。

インドでは毎年1月、2月に全国的にボリオワクチン接種を行っており、この地区ではそれに加えて4月、6月、9月にも実施しています。



また、今回の視察で驚いたのは、医師や看護師、さらには看護師をサポートする地域の女性たちが緊密に連携を取り合ひ、地域の子どもたちの情報をしっかりと把握している事でした。

およそ1億7500万人いる5歳以下の子どもたちすべての予防接種の記録を、地域ごとにノートやパソコンを用いて管理していました。

この地域の女性たちの強い連携と献身的な作業がボリオ根絶に大きな力となっていっていることが、今回の視察で分かりました。



Dehli Midtown health Clinic

また、町の診療所も視察しました。

ここは、デリミッドタウンロータリーカラーブが運営する診療所です。X線装置、薬剤、内科、外科もあり、治療費や薬代はすべて無料です。綿密な検診と日々のリハビリ、そしてボリオに対する正確な情報提供は、こうした街の診療所の大切な役割でもあります。

Akshay Pratishthan School Of Polio

次に、チャリティーからなる私立学校を視察しました。

ボリオ根絶支援の最終的な目標は、完治した患者たちを社会復帰させることにあります。ここではそのための職業訓練を行っています。この学校には主にボリオを患った5歳から14歳の子供達が通っています。

ボリオ患者の多くは、完治したとしても字が読めず、一般的な知識がないために仕事に就くことが出来ないのが現状です。

25年前、NPOとしてテントから始まったこの学校は、学费は無料で交通費・朝食・給食を提供しています。

施設のほかにも様々な職業訓練や、手術後のリハビリもこの学校で行われています。

職業訓練には、

大工、電気、ハウスキーピング、手芸、

パソコン、プログラミング、

映画などのメディア、美容師、料理、グラフィック、音楽

などがあり、そのうち一つを選択し学ぶこ

とが出来ます。



Akshay Pratishthan School Of Polio

障害のある生徒は治療費も無料です。その他にも車椅子・杖なども無料で提供しています。生徒からアプローチがあれば分け隔てなく受け入れ、断るようなことはないそうです。
そのため、この学校ではスラム街に住む子供達も多く通っています。スラム街の子供達の多くは貧困・隔離・勉強など全く知らないため、すべて最初から教えることになるとのことでした。

Akshay Pratishthan School Of Polio

また、この学校の運営費の半分はロータリーを含むボランティアなどの寄付によってまかなわれていますが、残りの半分は学園運営をサポートする方々によりバザーを年に3~4回実施し、その売り上げを学校に寄付しているそうです。
ロータリーグループでは、職業訓練の場である学校の運営に対しても大きな支援を続けています。



ロータリーの目標

ロータリーは過去40年以上にわたり、ポリオ根絶活動を行ってきました。ポリオを世界からなくすという私たちの目標は今達成まで本当に“あと少し”的ところにまで来ています。
世界ポリオ根絶推進運動（WPE）の立ち上げ当初からパートナーとして1979年にフィリピンの子どもたちに予防接種を実施したときから始まったこのプログラムを通じ、ポリオ症例を99.9%まで減少させることに貢献してきました。
今日、ポリオがまだ存続する国（現在国）はアフガニスタンとパキスタンのみとなっています。
ポリオ根絶を今やめてしまうと、10年間のうちに毎年ポリオによって身体がひとなる子どもが30万人になると予測されています。



貴重なお話をありがとうございました。

スマイルボックス 藤岡 博 委員 本日 ¥19,000 累計 ¥173, 266-

相澤 光春 様(ふじさわ湘南RC)

本日は例会の卓話にお招きいただきありがとうございます。ポリオについてお話しさせて頂きます。

石井 伸二 様(横須賀北RC)

いつもお世話になっています。相澤光春様、今日はよろしくお願ひします。

今井 澄江 様(鎌倉中央RC)

こんにちは。今日も楽しみに参りました。どうぞよろしくお願ひ致します。

根岸 君代 様(平塚北RC)

本日の相澤PGのポリオ卓話楽しみにして参りました。よろしくお願ひ致します。

中村 辰雄 様(相模原南RC)

約4年ぶりにマークに参りました。また、相澤パストガバナーの卓話聴きに参りました。よろしく。

生駒 秀之 様(綾瀬RC)

本日、例会におじゃまします。本年度はロータリーの友の委員です。よろしくお願ひします。

福山 茂 様(相模原グリーンRC)

本日は例会の卓話にお招きいただきありがとうございます。ポリオについてお話しさせて頂きます。

入江 公敏 会長、黒坂 育 幹事

本日は、2013~2014年度ガバナー相澤光春様にお越し頂きました。本日の卓話どうぞよろしくお願ひ

致します。横須賀北RC石井様、鎌倉中央RC今井様、平塚北RC根岸様、相模原南RC中村様、綾瀬RC生駒様、相模原グリーンRC福山様、よろしくお願ひします。

入江 公敏 君

入会記念のお岩ありがとうございます。

後藤 定毅 君

相澤PGようこそお越しくださいました。地区ホームページでインドでのポリオワクチン授与の記事見ました。本日のお話し楽しみにしています。またポリオチームの皆様もようこそ、クラブが賑やかになりました。楽しんでください。

岸 幸博 君

結婚記念日を祝っていただきありがとうございます。50年になります。

北砂 明彦 君

相澤PGはじめ、地区より多くの会員の皆様、本日はお忙しい中ありがとうございます。誕生日ありがとうございます。

高橋 清 君、橋本 日吉 君、辻 彰彦 君、野口 宏 君、中村 友彦 君

相澤パストガバナーそして多くの皆様のご出席ありがとうございます。本日はよろしくお願ひします。